



2025年9月29日

## 防護無線機のアンテナ線が抜けていた事象について

9月25日（木）15時頃、札幌運転所にて車両の交番検査（※1）を行っていた際に、車両に搭載している「防護無線機」（※2）のアンテナ線が抜けていて、防護無線を送受信できない状態となっていたことが判明しました。

※1 交番検査：車両を使用していない期間を除いて90日を超えない期間ごとに行う車両の状態及び機能についての定期検査のこと。

※2 防護無線機：乗務員が異常を知得した際に、防護無線機のスイッチを扱うことで無線信号を発信し、付近の他の列車に緊急停止を促し、列車同士の衝突などの二次災害を防ぐための装置

1. 関係車両 733系4106編成の1号車（クハ733-4106号）に搭載の防護無線機（6両編成 定員821名）
2. 原因 現在調査中
3. 対策 緊急対策として、同じ時期に新製し防護無線機を取り付けた車両（3両）について9月25日のうちに正常であることを確認しております。  
また、全道の車両の防護無線機の取付状況について一斉点検を実施し、9月28日までにすべて正常に取り付けられていることを確認できております。  
原因が判明次第、必要な恒久対策を講じてまいります。
4. その他
  - （1）当該の防護無線機は、2025年6月に新製した当該車両に搭載したもので、当該車両の新製後初めての交番検査を実施していました。
  - （2）車両新製後、当該車両は小樽～札幌～滝川、札幌～新千歳空港・苫小牧・北海道医療大学間で運行していました。
  - （3）当該の防護無線機は2025年6月18日に設置した際は、正常に機能することを確認していました。その後いつアンテナ線が抜けていたかは調査中ですが、当該の防護無線機の受信履歴を確認したところ、少なくとも2025年7月3日以降に外れたものと推定しています。

### 5. 防護無線機の写真（正常な状態）



今回抜けていたアンテナ線

### 通常使用状態の写真

